



石狩平野に広がる水田

北海道支部の紹介

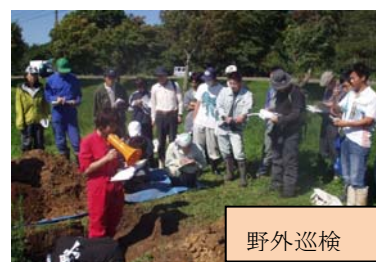
北海道支部は、現在会員数200名を数え、民間の肥料会社や環境調査のコンサルタント、JA（農協）、農業改良普及センター、独立行政法人の研究機関、そして大学など、多岐にわたっています。

北海道では、冷涼な気象条件での大規模農業を背景に土壌肥料研究を展開してきました。成果は、毎年12月初めに北農研、北大等、札幌市内で開催される支部大会で公表され、例年40課題の口頭発表があります。大会に引き続いて、北海道土壌肥料懇話会のシンポジウムを共催し議論を深めています。また、支部会では、日本農芸化学会北海道支部との合同講演会を毎年共催し、土壌肥料に限らず広く議論の場を設けています。さらに、2日間にわたる野外巡検では土壌断面調査法の現地学習を行っています。

食糧自給率が40%前後を推移する中、北海道の食糧自給率は200%であり、日本全国および世界に向けて食料を提供してきました。今般、北海道では食産業クラスターが立ち上がるなど、日本の食料拠点として、北海道が総力をあげて食料産業を打ち出しています。北海道支部会も土壌を基盤とした食料生産、食料産業の発展に貢献していく所存です。



試験圃場への堆肥施用



野外巡検



大学の学生実習



ソバの花



ダイズの花



バレイシヨの花